

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月31日

事業名	佐野市農業青色申告会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	農業委員会事務局		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農業委員会事務局				-	款	-	新規or継続	継続事業
	係	農地調整係					項	-	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	-	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S47	実施方法	直営	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	2	都市型農業の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・農業青色申告会の税に関する研修会の開催、農業所得に関する税の確定申告等の指導を実施して会員の経営能力の向上を図っている。 ・農業青色申告会とは、農業青色申告をしている農業者が加入している組織である。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業青色申告会員が協議会開催により、簿記記帳の技術を習得し正確な申告ができるようにする。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
指導会参加者数	人	474	474	474	474	474

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 佐野市農業青色申告会の実施する事業を支援。 【佐野市農業後継者結婚推進協議会の活動】 源泉徴収事務指導会、農業複式簿記記帳指導会、決算事務指導会(税理士・簿記指導員による指導、e-Taxによる申告書作成支援)、確定申告事務指導会(税理士・簿記指導員による指導、e-Taxによる申告書作成支援)
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
農業複式簿記研修会参加者数	人	0	0	0
決算等個別指導会参加者数	人	223	222	210
簿記記帳個別指導会参加者数	人	197	205	189
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	指導会参加者数は前年度とほぼ同数であり、多くの青色申告会員が参加することができた。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
指導会参加者数	人	420	427	399	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	0指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	1指標
指標全体	効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指導会参加者数は横ばいであり、より多くの会員に参加しいただけるように周知に努める。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	引き続き、青色申告会員に対し簿記記帳の技術を習得するための機会を確保する。

事業名	農業経営基盤強化促進事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課		農業経営基盤強化促進事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	義務的事業
	基本目標	1	魅力ある農業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H5	実施方法	直営
	政策	2	都市型農業の推進			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	農業の担い手の育成・確保						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	新規認定や、認定の更新等、農業経営改善計画の認定を支援することで、農業経営基盤の強化を促進する。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	担い手の育成を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		認定農業者数	経営体	240	240	240	240	240

（３）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・農業経営改善計画認定申請の相談 ・農業経営改善計画認定事前指導会の開催 ・農業経営改善計画認定に伴う関係機関への意見照会 ・農業経営改善計画認定書の交付	活動指標	単位	R3	R4	R5
		事前指導会の開催	回	3	3	3
		関係機関への意見照会	回	3	3	3
		計画の認定件数	件	60	41	36
		事業費計	千円	0	0	6
		一般財源	千円	0	0	6
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	担い手へ農地の利用集積を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		認定農業者数	経営体	222	235	240	値が大きいほど良い	効果が上がった

（４）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

認定農業者になってもメリットがないという意見を頂いている。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	農業者年金業務推進事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	農業委員会事務局		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農業委員会事務局				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農地調整係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S29	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	－	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「独立行政法人農業者年金基金法」に基づく、農業者年金基金との業務委託契約による事務である。平成14年1月1日より旧制度が廃止となり新制度が開始されたが、旧制度に基づく事務も継続しているため、両制度の事務を実施している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業従事者の新規加入の促進を図ると共に、加入者が確実に年金が受けられるように指導する。更に、加入者がメリットのある受給額の多い経営移譲年金が受けられるように指導する。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
加入者数(被保険者数)	人	32	32	32	32	32

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・農業者年金各種届出等処理事務 ・農業者年金加入推進員との新規加入促進のための戸別訪問の実施
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
処理件数	人	33	45	28
戸別訪問件数	人	1	15	21
事業費計	千円	85	13	66
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円	85	13	66
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	加入推進委員との戸別訪問や農業委員会だより等でのPRにより、制度の周知が図られた。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
加入者数(被保険者数)	人	31	29	31	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

戸別訪問やチラシ等により制度の周知に努めたが加入者増に結びつかなかった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	引き続き、戸別訪問やチラシ等により制度の周知に努める。

事業名	安足地方農業振興協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課		安足地方農業振興協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		参画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	なし		開始年度	H13	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要									
事業概要	安足地域における農業・農村の持続的発展を目指し、安足地域農業振興計画の推進をはじめとする農政対策などの各種事業を実施する安足地方農業振興協議会への負担金								
(2) 目的					(3) 目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	安足地域農業振興計画（風は南南西）を推進し、新規就農者の増加・担い手の経営面積の増加を目指す。				効果指標	単位	R3	R4	R5
					計画プロジェクト数	件	3	3	3
					新規就農者数	人	18	14	16

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 負担金の支出206千円、年2回の会議出席 (協議会の活動) ・農政対策・水田農業改革推進対策・農作物高付加価値化、ブ ランド化対策 ・農地の集積、集約化対策・組織育成対策 ・営農技術対策 ・ 地域振興対策 ・食と農の理解の促進・農作物の安全、安心対策	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議参加回数	回	2	2	2
		事業費計	千円	205	206	206
		一般財源	千円	205	206	206
		特定財源 (国・県・他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	新規就農者の増加・担い手の経営面積の増加	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		計画プロジェクト数	件	3	3	3	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		新規就農者数	人	9	6	26	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）									
費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体	効果が上がった							
費用	費用は下がった								
	費用の増減無し					○			
	費用が増加した								

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題			
取組効果が上がったことから、取組は効果的である。			
(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組			
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><th>取組説明</th></tr><tr><td>現状維持</td></tr></table>	取組説明	現状維持
取組説明			
現状維持			

事業名	園芸新規就農者研修受入支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市園芸新規就農者研修受入支援事業費補助金交付要領	事業 期間	開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新規就農者が就農後安定した経営を持続させるためには、実地研修を通じた経験・技術等の習得が重要であるため、新規就農希望者の研修受入農家を支援することで、新規就農者の受け入れ態勢の拡充整備を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	新規就農者の研修受入農家に対して、研修に係る費用の一部を市とJAが負担することで、新規就農希望者を受け入れやすくする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		受入農家	戸	2	1	2	2	2
		新規就農希望者研修生数	人	2	2	2	2	2
		新規就農者数	人	18	14	16	18	20

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	研修生0名で、支援を行うことができなかった。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		連絡会議	回	12	5	0
		事業費計	千円	360	180	0
		一般財源	千円	360	180	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	新規就農者の確保になっている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		受入農家	戸	2	1	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		新規就農希望者研修生数	人	2	1	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		新規就農者数	人	9	6	26	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				○
	効果が下がった指標数	2指標		費用が増加した		
	指標全体	効果が下がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R5年度に研修生 0 名であったため、園芸新規就農研修受入支援事業の周知を積極的に行う必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度を取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	関係機関と連携し、受け入れ態勢の整備と共に、周知を図る。

事業名	佐野市生活研究グループ協議会支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課		佐野市生活研究グループ協		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		議会支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	なし		開始年度	S40	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	農業の担い手の育成・確保						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要									
事業概要	会員相互の連絡調整を図り、会員個々の資質及び生活の向上と地域の活性化を推進するため、補助金を支出すると同時に、農政課が事務局として活動の支援をしていく。（佐野市生活研究グループ協議会：農村生活研究活動の発展及び地域の活性化を推進することを目的として活動する団体。令和５年度は7グループ34名で組織されている。）								

（２）目的		（３）目標値						
目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	農村地域の生活改善等に関する研究活動を行い、農村生活の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会員による加工販売団体数	団体	6	6	6	6	6
		会員のうち、女性農業士、農業委員数	人	4	4	5	6	7

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績		（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	(協議会の主な事業) 6月 料理講習会 8月 食育講座 10月 先進地視察研修 (加藤農園ほか) 10、11月 さのまる地産地消プロジェクト 1月 食育紙芝居教室 1月 ガーデニング講座 2月 総会および交流研修会 ※役員会 (4月、6月、8月、9月、12月)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		協議会主催の事業・役員会等	回	5	9	13
		県・市への事業等協力	回	3	5	6
		事業費計	千円	220	0	220
	(安足地区推進協議会の主な事業) 7月 視察研修会 (若山農業ほか) 12月 米消費拡大講習会 3月 定期総会 ※役員会 (4月、5月、3月)	一般財源	千円	220	0	220
		特定財源 (国・県・他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

（３）活動による効果					（４）事業効果を説明する数値データの推移				
効果説明 （定量及び定性）	男女が共に積極的に参画し、いきいきと活動できる社会の実現と、豊かで活力のある地域になる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
		会員による加工販売団体数	団体	6	5	3	値が大きいくほど良い	効果が下がった	
		会員のうち、女性農業士、農業委員数	人	4	4	3	値が大きいくほど良い	効果が下がった	

（５）費用対効果結果（自動判定）					※ 1 0万円以上の増減により判断				
費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した				効果				
	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果は変わらない指標数	0指標			費用は下がった				
	効果が下がった指標数	2指標			費用の増減無し				
指標全体		効果が下がった			費用が増加した		○		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									
高齢化により、活動に参加することが難しくなり、会員を辞める方がいる。									

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組			
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）		取組説明	
		活動しやすい事業内容を考えるとともに、会員拡大に向け、活動の周知を図る。	

事業名	佐野市青少年クラブ協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課		佐野市青少年クラブ協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係		支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H 4	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

事業概要	地域の仲間と幅広い情報や意見交換、農業経営などに関する知識・技術向上、消費者との交流を図るとともに、地域農業の発展に寄与できる農業後継者を育成することを目的とする青年農業者(9名) で組織する佐野市青少年クラブ協議会に運営の補助金を交付する。								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

(1) 事業概要		(3) 目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市青少年クラブ協議会の会員が農業経営に関する知識・技術の向上や情報交換、相互交流、連携等を通じて、地域の指導的な農業者となるよう支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		協議会会員	人	9	9	9	9	9
		会員中、認定農業者となった人数	人	3	2	3	3	3
		会員中、認定新規農業者となった人数	人	2	2	2	2	2
		担い手への農地集積	ha	1,190	1,700	1,720	1,740	1,760

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に行った主な活動内容)	補助金 55千円 協議会の主な事業 市内中学校への営農指導等	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議開催回数	回	12	12	10
		事業費計	千円	55	55	55
		一般財源	千円	55	55	55
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	認定農業者等、地域担い手として、農地の集積に積極的に取り組んでもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		協議会会員	人	9	8	9	値が大きいほど良い	効果が上がった
		会員中、認定農業者となった人数	人	3	3	4	値が大きいほど良い	効果が上がった
		会員中、認定新規農業者となった人数	人	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		担い手への農地集積	ha	1,189	1,688	1,648	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した	○	
	指標全体	効果が上がった				

4．次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題
特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度を取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 現状維持

事業名	佐野市農業士会支援事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S49	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(１) 事業概要									
事業概要	農業後継者の育成指導及び地域農業の振興のための指導・助言を行う佐野市農業士会の活動を支援する。								
(２) 目的					(３) 目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業士・女性農業士を増やすことにより、新規就農者や担い手の育成を図る。	効果指標		単位	R3	R4	R5	R6	R7
		農業士		人	7	5	5	7	8
		女性農業士		人	5	5	4	5	6

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(１) 活動実績		(２) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	総会(7/3) 講演会(2/9)の開催	活動指標	単位	R3	R4	R5
		総会出席農業士数	人	11	9	8
		事業出席農業士数	人	0	9	3
		事業費計	千円	0	20	20
		一般財源	千円	0	20	20
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(３) 活動による効果		(４) 事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	農業士、女性農業士の数を増加し、佐野市農業士会の活動を活 性化	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		農業士	人	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		女性農業士	人	4	4	4	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(５) 費用対効果結果（自動判定）									
費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	2指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体	効果は変わらない							
費用	費用は下がった								
	費用の増減無し					○			
	費用が増加した								

4．次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

農業士、女性農業士の基準を満たすことが難しく、また、県農業士会や安足地区農業士会の会費を徴求され、ボランティアでの活動が多いことから、推薦にまで至らず、辞退されるケースが見受けられる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）

☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☐ 事業費の見直し検討

☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

農業士、女性農業士となられても、なるべく、日中の奉仕活動がなくて済むようにしていく等、機会がある毎に、県や県事務所に伝えていく。

事業名	農業振興地域整備促進事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	義務的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	農業振興地域の整備に関する法律	事業期間	開始年度	S46	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度	-	事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	農業振興地域の整備に関する法律に基づいて作成した農業振興地域整備計画を策定、推進する。本事業で、通年の取組みとして農用利利用計画の管理を行っている。
------	--

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業健全な発展と国土資源の合理的な利用の計画的な推進 耕作放棄地の解消等	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		農業振興地域内の農用利区域の割合	%	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8
		計画の変更申出に対して変更した割合	%	100	100	100	100	100

（３）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・農用地利用計画の変更を行った。 ・農業振興地域整備促進協議会を開催した。 ・窓口における農用地の確認、農用地証明の発行、農用地区域からの除外の相談を行った。 ・関係課から、開発等による影響等の照会に対し、回答を行った。 ・本市整備計画書の見直しに着手した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		除外等の申し出処理件数	件	12	4	7
		変更の申し出処理件数	件	3	2	3
		協議会の開催回数	回	3	2	3
		事業費計	千円	95	35	70
		一般財源	千円	72	14	47
		特定財源（国・県・他）	千円	23	21	23
		（うち受益者負担）	千円	23	21	23

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・農用地区域の管理 ・農地の保全	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		農業振興地域内の農用利区域の割合	%	35.8	35.8	35.8	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		計画の変更申出に対して変更した割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	2指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

事業名	農業人材力育成総合対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	農業人材力強化総合支援 事業実施要綱		開始年度	H24	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を生かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要								
事業概要	青年等の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、青年等新規就農者・経営継承者に対して、経営発展のための機械・施設の導入のための資金、または経営が不安定な就農開始直後の所得を確保する資金として、あるいは両方を交付する。							
(2) 目的		(3) 目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	就農意欲の喚起と就農後の定着を促進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		交付対象者	人	4	6	6	6	6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(１) 活動実績		(２) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	農業次世代人材投資資金（経営開始型）の支出 R5 継続分 1,306,625円 新規就農者育成総合対策事業（経営発展支援事業・経営開始資金）の支出 R5 継続分 1,500,000円×1人 R5 新規分 1,500,000円×1人 3,567,000円×1人 計6,567,000円	活動指標	単位	R3	R4	R5
		就農状況報告の回数	回	2	2	2
		事業費計	千円	3,170	13,649	7,874
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	3,170	13,649	7,874
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(３) 活動による効果		(４) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	担い手が確保・育成され、認定農業者・農業生産法人に積極的に利用集積を行ってもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		交付対象者	人	4	6	3	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果 (自動判定)										
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し			※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標			費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標								
	効果が下がった指標数	1指標								
	指標全体	効果が下がった								

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用者から制度内容が複雑であるとの声がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状維持
---	---------------------------------

事業名	農業制度資金利子補給事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市農業経営近代化資金利子補給条例		開始年度	S 3 8	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	融資・貸与事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要	
事業概要	農業経営の近代化推進に必要な資金を借り受けた農業者が負担する利子の一部を補給することにより、農業経営の安定向上と農業構造改善に資する。

（２）目的		（３）目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農家に対して、農業用設備の導入等による農業経営の改善を図るとともに、農業者の負担の軽減を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内農家戸数（農センサス）	戸	2,225	2,225	2,225	2,225	2,225
		設備を導入した農家数目標（受付件数）	戸	5	5	5	5	5
		農産物販売金額	億円	21.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績		（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	農業経営近代化資金の貸付利子の補給（２％以内を実施）。 R5年度利子補給実績は無し。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		利子補給を行った農家	戸	1	0	0
		農業制度資金利子補給額	千円	2	0	0
		事業費計	千円	2	0	0
		一般財源	千円	2	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（３）活動による効果		（４）事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	農家の農産物の出荷額が増え農業所得が向上する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市内農家戸数（農センサス）	戸	2,222	2,222	2,222	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		設備を導入した農家数目標（受付件数）	戸	5	5	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農産物販売金額	億円	20.0	20.5	22.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）		※ １０万円以上の増減により判断			効果		
費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった			
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果は変わらない			○		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題	
特になし	

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組					
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><td>取組説明</td><td></td></tr><tr><td>現状維持</td><td></td></tr></table>	取組説明		現状維持	
取組説明					
現状維持					

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月31日

事業名	佐野市農業後継者結婚推進協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	農業委員会事務局		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農業委員会事務局		佐野市農業後継者結婚推進協議会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農地調整係		根拠法令、条例等		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	122	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	－	事業期間	開始年度	S55	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	－	事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	農業後継者の結婚相談や結婚の成立を援助することにより、農業後継者の生活の安定・向上の推進を目的として設立された団体である、佐野市農業後継者結婚推進協議会の支援。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	農業後継者結婚推進協議会が行う事業を円滑に進め、結婚の成立を援助する。
-------------------------	-------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
ふれあいパーティー参加者数	人	20	20	20	20	20
カップル成立組数	組	4	2	2	2	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 佐野市農業後継者結婚推進協議会の実施する事業を支援。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助団体の相談員活動数	人	—	—	11
		補助団体の活動の申込者数	人	—	—	11
	【佐野市農業後継者結婚推進協議会の活動】 総会及び農業後継者等を対象とした婚活パーティー(ふれあいパーティー)を実施。					
		事業費計	千円	0	0	150
		一般財源	千円	0	0	150
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	ふれあいパーティーを開催し男性6名、女性5名、計11名の参加があり、1組のカップルが成立した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ふれあいパーティー参加者数	人	0	0	11	値が大きいほど良い	効果が上がった
カップル成立組数	組	0	0	1	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった
効果が上がった指標数	2指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

ふれあいパーティーの最小催行人数を男女とも各5名と設定し、思うように参加者が集まらずに開催自体が危ぶまれたが、何とか開催することができた。 今後は費用の縮減や事業の在り方を検討していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 佐野市農業後継者結婚推進協議会の今後の在り方について、協議会へ検討を促す。
---	---